

### 今しか姿を現さない春の妖精

他の植物が未だ活動前の早春にしか姿を見せないことから、スプリング・エフェメラル(春の妖精)と呼ばれるセツブンソウ、ユキワリイチゲ、フクジュソウをこの機会に是非ご覧ください！

### ススキノキ (ススキノキ科)

当園では1992年以来25年ぶりにご覧いただけます。前回の開花株は枯死したため、この開花株は2014年10月の導入株。黒色の花茎が立ち上がり、無数のめしべとおしべの入ったつぼみが付いており、花穂の下部からおしべが白く展開してきました。

### ゼラニウム展

当園のゼラニウムコレクションを一同にご覧いただけます。華やかな園芸品種のみならず、国内でも貴重な「変わり葉ゼラニウム」は必見です！お見逃しなく！！

[展示温室にて～4/19]

### 大温室改修のため休館

リニューアルオープンは平成29年秋ごろ(予定)です。

### クリスマスローズ(キンポウゲ科)

一重～八重まで様々な花色の園芸品種が一面を埋め尽くしております。野生種はロックガーデンにてニゲルを始め、リビドウス、コルシクス、アトルペンスがご覧いただけます。

### 日本庭園は花盛り

年末のウメ‘冬至’‘八重寒紅’に始まった花のバトンは今、‘藤牡丹枝垂れ’‘呉服枝垂れ’へも渡り、更に続けてモモが受け取りつつあります。ピンク色一重の‘雛遊び’に続き、白色八重花の‘関白’も咲き始めました。

更に谷奥に進むと早春を彩るミツマタやコショウノキが花盛り！晴天時には株元のユキワリイチゲも花を開きます。

また、茶室前の水琴窟は必聴ですっ！？

### ツバキの野生種(ツバキ科)

中国南部原産で白色の細花弁が枝一面に広がるユーシエネンシス、中国西南部原産で赤色花のポリオドンタが見頃です。周辺に点在して咲く自生のアセビも枝一面花盛り。

### ヒサカキ(ツバキ科)

地元では‘はなのき’とも呼ばれ供え花として馴染みの低木。見栄えのする樹ではありませんが、この時期野山から漂う、その香りは春間近を知らせます。

### 早春の花木が花盛り

芝生広場のサクラ植栽区では極早咲きのカワツザクラが満開、カンヒザクラが咲き始め、芝生広場奥では黄色花を始め赤色やオレンジ色花のマンサク、黄色の花から「ハルコガネバナ」とも呼ばれるサンシュユ、紫花のゲンカイツツジが見頃、イベント広場への階段近くではジンチョウゲが満開、周囲に香りを放っております。

### ウメ園(バラ科)

中段の早生から下段の晩生までウメ園全面が様々な花色で彩られています。下からのみではなく、上段からも是非ご覧ください。大温室を背景に絶景が広がります。

